

## 学校支援を積極的に進める

# 学校を支えるPTAの力

### 春日井市立春日井小学校PTA

#### 1 はじめに

本校は、全校生徒722名、25学級で、開校145年目（令和2年度現在）を迎える伝統のある学校である。明治初期にわずか2教室を新築して開校し、以来何度も移転と増改築を経て、現在に至っている。当時はのどかな田園地帯が広がっていたが、校区東側を中心に住宅造成が進み、将来的には名鉄春日井駅を中心とした大規模な区画整理によって、今まで以上に活気あふれる地域に生まれ変わることが予想される。児童数も、昭和52年に1,576名を数え、市内有数の大規模校となったが、近隣に小学校が新設され、最近では児童数720名前後で安定している。



【春日井小学校全景】

#### 2 研究への取組

##### (1) 研究のねらい

本校PTAは、児童教育の向上・会員の教養向上・教育環境整備を目指し、子どもたちの心豊かで健やかな成長を支えてきた。しかし、世の中の状況が日々変化している現在、PTAの在り方が問われている。

「春小」の子どもたちの健全育成を、今後も力強く支えていくためには「家庭・地域・学校」が一体となって、学校を取り巻く諸問題解決に取り組む必要がある。そのために、PTAとしてどのような支援が可能かを模索し、活動を推し進めることが大切であると考えた。

##### (2) PTAの組織と主な活動



### 3 実践活動の概要

#### (1) これまで続けてきた活動

##### ① 子どもたちを見守る活動

厚生部・地区委員に加えて、多くのPTA会員の方々にご協力していただき、交通安全立哨（登校見守り）を毎朝行っている。また、学区には水路や多くの危険箇所が点在するため、通学路や遊び場での危険箇所を調査し、危険を知らせる立て札を立てて注意喚起している。



【立て札の設置】

##### ② 環境整備（ペンキ塗り）

年1回、総務部が「おやじの会」と連携し、校内の環境整備を行っている。遊具や施設のペンキ塗りが毎年行われ、親子で参加していただいている。必要な整備を行うことで、子どもたちが快適で、安心・安全な学校生活を支えている。



【ペンキ塗り】

##### ③ ふれあい教育セミナー

研修部・行事部が、会員同士のふれあいや家庭教育力の向上を目的としたセミナーを年3回程度開催している。中でも「吟遊和太鼓教室」は毎年多くの親子が参加している。学区にお住まいの日本吟遊学院上席師範である高野岳道氏を講師としてお招きし、和太鼓の魅力を親子で味わっている。また、最近では学校行事とタイアップして、先生方と一緒に「携帯スマホ安全教室」に参加し、情報機器に関連した危険やトラブルを未然に防ぐための対応方法を学び、昨今話題となっている内容にも目を向けている。



【吟遊和太鼓教室】

##### ④ 広報活動

広報部が、年2回のPTA新聞「もりかげ」を発行し、学校やPTA活動の様子を知らせている。また、PTA各種行事を随時取材し、活動後には学校ホームページで紹介することで、PTA活動の見える化を図っている。



【携帯スマホ安全教室】

##### ⑤ 読み聞かせ・読書まつりへの参加

研修部を中心に6月の「あじさい読書週間」と11月の「コスモス読書週間」を「春小タイム（8時35分～8時50分）」を利用して、各教室をボランティアが分担してまわり、読み聞かせを行っている。

また、全校児童を対象にした「読書まつり」も体育館で行っている。母親委員会を中心に、毎年人形劇を上演していただき、子どもたちにも大変好評である。こうした活動を通して、子どもたちに本の魅力を伝えると同時に、ボランティアメンバーも達成感や充実感を得ることができている。



【読書まつり】

⑥ ベルマーク集計作業

小学校では、委員会の呼びかけでベルマークを集め、昨年度は大縄を数多く購入することができた。この回収作業を支援するために、年に2回ほど分別集計作業を行っている。



【ベルマーク分別集計作業】

⑦ 給食試食会

行事部を中心に、毎年1回給食試食会を実施している。毎年、多くの参加者があり、盛況である。子どもたちが普段食べている給食を実際に食し、安価で栄養バランスの良い給食の魅力について、関連資料に目を通しながら見聞を深めることができた。試食会後は、栄養職員による、春日井の学校給食についての話を聞き、その特色を知ることができた。



【給食試食会】

⑧ その他の取組

昭和50年代前半に春日井小学校が大規模校となり、松山小学校が分校として誕生したため、「春日井区」に2つの小学校区が存在する形になった。この「春日井区」には、2分化される前から培われてきた地域行事が脈々と受け継がれており、今も「春日井区民運動会」「春日井区球技大会」「盆踊り大会」などが、春日井区役員のみなさん、体育振興会のみなさんのご尽力で企画運営されている。これらの行事へもPTA役員が賛助しており、毎年子どもたちが楽しみにしている催しの運営を根底から支えている。

(2) 新たに取り組んだ活動

これまで行われてきたPTA活動は、その時々学校のニーズに合わせて育まれてきた活動であり、どれを取っても必要性を感じるものばかりである。しかし、世の中の状況が刻一刻と変化している今、さらに喫緊の課題に目を向けた活動が必要なのではないと考え、次の2つを新たな取組として計画・実践した。PTA活動に子どもも参加できる場面を積極的に組み込んで、子ども・保護者のみなさんに、活動の意図や意義

について理解してもらおうと同時に、子どもの健全育成につなげてもらうことをねらいとした。

① 親子の関わりを深める取組

「不用品回収」の開催

不用品回収を始めて2年目となるが、チャイルドシートやベビーカー、おもちゃ、テーブルなど、多くの品物を各家庭より提供していただいた。集められた不用品は、発展途上国にて再利用されている。環境保全の視点からごみの減量やリサイクルの意識を高める活動となった。



【不用品回収】

② 防災に対する意識向上に向けた取組  
（「防災宿泊体験」の開催）

ここ数年の異常気象や自然災害により、想定を上回る被害が様々な地域で発生している。そこで、緊急避難場所となっている春日井小学校の体育館において、防災宿泊体験を行った。陸上自衛隊春日井駐屯地の協力を得て、災害時の対応についての講話や指導をしていただいた。防災倉庫の中を確認したり、夕食では炊事車を活用して非常食を体験したりした。段ボールで寝床を作成して宿泊することで、避難時の苦労や大変さを実感できた。保護者、児童ともに、防災の意識を高めることのできる体験であった。



【自衛隊の協力】



【宿泊体験】

#### 4 おわりに

コロナ禍の対応として、1学期は学校行事を含め、制限のある中でのPTA活動となった。しかし、保護者や地域の方々の理解と協力があり、2学期以降は感染症対策を徹底し、これまでの定着した活動を行うことができた。例年がない夏季休業期間中の登下校では、近隣店舗や施設の協力による「子ども休憩室」の設置や見守り、また、本年度をもって、春日井小学校区の子ども会がなくなることに伴い、地域ではそれに代わる活動が計画されている。学校・家庭・地域のつながりが強い地域であるとともに、関心も高いと感じている。

PTAの役割である、学校・家庭・地域との連携を図っていく大切さを強く感じるとともに、それぞれに負担がかからないように、現在必要とされる活動を精選し、さらに地域力を高めていこうと考える。